



読書旬間で本に親しもう！

学校では、本を読む機会を多く持ち、読書の楽しさを味わわせ、読書の習慣化を図るために、読書旬間（10月17日～31日）を設定し、様々な工夫をしています。昨日20日（木）には、昼休みに図書委員の皆さんが、読み聞かせを行っていました。昨日は低学年でしたが、本日が中学年、高学年も既に読み聞かせが



っています。また、家族読書も行っていて、期間中に家族で同じ本を読んだり、読み聞かせをしたり、それぞれに別の本を読んだりと様々な形で家族内で読書に取り組んで欲しいと思います。文化庁が2018年度に行った「国語に関する世論調査」によると、1か月に1冊も本を読まないという人は、全体の約半数にのぼります。2人に1人は本を読む習慣がないというのが現状です。中には、1週間に1冊以上のペースで読書をしている人もいますが、全体の1割もいません。約半数の人は本を読んでおらず、熱心に読書をしているのは一部の人に限定されていることが分かります。

「わくわく通信 NO.8」でも読書の効果に触れていますが、この読書旬間を機に本に親しんでみませんか？

帯山中学校からのプレゼント

先日15日（土）に、青少協と中学校が協力して取り組んでいる「帯山中学校区さわやか推進事業」が行われました。地域の公園を中学生が掃除をしたり、地域に花を配ったりしています。本校も中学校の生徒が、パンジーをプランターに植えて、運んでくれました。プランターは職員玄関に5つ飾ってあります。これから次々と花を咲かせてくれることでしょう。さわやか事業という名の通り、中学校の生徒によって、学校を訪れる皆さんの心を爽やかにしてくれると思います。中学生の皆さん、ありがとうございました。



音楽会に向けて

最近、昼休みになると、教室などから様々な楽器の音が聞こえてきます。音楽会に向けて、子供たちが自主練習をしているのです。子供たちは目標を持つと自ら頑張ろうとします。音楽会に向けて先ずは「自分を育てる心」で努力し、目標に近付いてくれることに期待しています。音楽会を終えたときに帯西レンジャーのどの心が伸びたのかを、子供たちに聞きくことを楽しみにしています。